

5/28 大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオン」に参加し 「蒸しもち麦」「兵庫育ちのもち麦」を PR

“地域を元気にする活動”に取り組む「加東市もち麦活用協議会」と「県立社高校」メンバーが会場で発信

蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区：代表取締役社長 柳本勇治）が、兵庫県加東市（市長：岩根正）、JA みのもり（加東市：代表理事組合長 神澤友重）、兵庫県北播磨県民局（加東市：局長 成田 徹一）、および加東市内のもち麦生産者と組織する「加東市もち麦活用協議会」は、協働で栽培しているもち麦の魅力を広めることを目的として、2025 年 5 月 28 日（水）に大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル 2025」に出展し、マルヤナギの「おいしいもち麦 蒸しもち麦」や「兵庫育ちのもち麦」を試食・販売します。



ギャラリーWEST

「加東市もち麦活用協議会」出展概要

「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル 2025」とは、兵庫県をまるごと 1 つのパビリオンに見立てて、地域が持つ魅力を広く発信する「ひょうごフィールドパビリオン」が万博会場に大集合し、兵庫グルメの試飲試食や地場産業の製作体験、多彩なステージイベントなど兵庫県の魅力を体験できるイベントです。「加東市もち麦活用協議会」は、協働で特産品もち麦を活用した「農業振興」「地域活性」「健康維持・増進」の活動 PR および、「蒸しもち麦」「精麦もち麦」の試食・販売を行います。

【出展概要】

開催日時：2025 年 5 月 28 日（水）11 時 00 分から 19 時 00 分

開催場所：万博会場催事場「ギャラリーWEST」、「ポップアップステージ西」

県立社高校生活科学科の生徒が「ステージ PR タイム」に出演

毎年“もち麦で地域を元気にする活動”に取り組む、兵庫県立社高等学校生活科学科の生徒たちが、出展者 PR タイムに登場します。高校生たちが地域の特産品「もち麦」についての質問に答えるかけ合いスタイルで、元気いっぱいにもち麦を RP します。

【出演予定】

・ギャラリーWEST ステージ 11：30～11：55 頃

・ポップアップステージ西 12：30～12：50 頃



マルヤナギのもち麦商品（一部抜粋） 商品概要



兵庫育ちのもち麦 1kg

白米や玄米と一緒に炊飯器で炊くだけ。兵庫県産もち麦 100%使用で、炊飯しても褐変せず、もちモチ食感

内容量：1kg

賞味期間：常温 365 日



おいしいもち麦 蒸しもち麦

もちモチ食感でほんのり甘い国産キラリモチだけを使用。蒸し調理済みでそのまま食べられる。

内容量：70g

賞味期間：常温 90 日

加東市で栽培しているもち麦・キラリモチ」について



キラリモチはもち性大麦の品種名で、もっちりモチモチした食感と、従来のうるち性大麦と比較し食物繊維を多く含むことが特長です。また、炊飯後褐変しないことから、従来品種より見た目が大幅に改善され、麦特有のにおいも少なく食味に優れています。

加東市をはじめとする北播磨で栽培されたキラリモチ」は、2023 年 8 月、「北播磨のもち麦キラリモチ」として兵庫県が認める「ひょうご農畜水産物ブランド戦略策定品目」に追加され、もち麦の品質向上とブランド認知拡大に取り組んでいます。

加東市でのもち麦を通じた取り組み

・JA みのりと加東市でのもち麦栽培について

加東市に本拠を置く JA みのりの協力を得て、2017 年秋からもち麦栽培が始まりました。2020 年には、加東市内の作付け面積は約 100ha に増え、2021 年には西脇市、多可町に栽培地を拡大。現在では、全体で約 160ha でのもち麦栽培を行っています。元々水稻の栽培が主な土地でしたが、コメの裏作としてシロガネコムギを作っているところがありました。しかしシロガネコムギを裏作で作る際のデメリットは、収穫時期と田植え時期が重なることであったため、収穫がシロガネコムギより 2 週間早いもち麦の栽培は生産者の大きなメリットとなり、もち麦の栽培が一気に広がりました。また、水稻と二毛作ができることから、収入がプラスオンになることも、生産者のメリットとなっています。



・加東市とマルヤナギの連携協定締結（2019 年 7 月 22 日）

JA みのりととの協働による加東市内でのもち麦栽培の進展を受け、マルヤナギは加東市産もち麦の特産品化、もち麦を活用した町づくりの推進等への協力を加東市へ申し入れ、加東市もそれを歓迎するかたちで「SDGs を踏まえた地域活性・市民の健康増進・農業振興等の連携協定」を締結する運びとなりました。

さらに加東市、JA みのり、兵庫県北播磨県民局、マルヤナギ、生産者で「加東市もち麦活用協議会」を立ち上げ、もち麦栽培の振興と特産品化、商品化、市民の健康づくりサポートなど、様々な形で地域を盛り上げています。

